

華やかなパフォーマーたちがおりなす音と光の世界。



カナダと日本を結ぶコミュニケーションシンプレス

メイプル

東北

VOL.4

魅惑の世界——ファッションシオン仙台公演



8月19～23日、カナダ・ケベック州のバレエチーム「シルク・ドゥ・ソレイユ(太陽のサーカス)」によるファッションシオンが開催されました。4日間の入場者数は約43,000名もあり、大変な好評を博しました。当協会でも後援し、公演初日にはカナダ大使館スワンソン公使ご夫妻も鑑賞されました。

N E W S

各地で花ひらく“友好の輪”



カナダ・フィルム フェスティバルを開催

5月9日、10日の両日、仙台市においてカナダ映画の上映会が開催されました。上映作品は、カナダ・プリンスエドワード島の美しい自然をバックに繰り広げられる『赤毛のアン』（今年は原作者ルーシー・モード・モンゴメリの没後50年目にあたります。）やカナダを代表するアニメ作家、フレデリック・バックの『木を植えた男』、その他『モントリオールのジーザス』、『間違いだらけの恋愛講座』の4本が二日間にわたり紹介されました。

協会会員をはじめ、仙台市民など延べ約500人が集まりカナダ映画を楽しみました。

カナダ・フードフェア

仙台市内のホテル・デパート・レストランにおいて肉や水産物などのカナダの味覚を紹介するフードフェアが開催されています。期間は9月2日より10月31日までで、グルメフェアでは直輸入されたバッファローのステーキなどが味わえます。また、デパートではビーフ、サーモン、ジャムなどが紹介・販売されました。

なお、応募専用のはがき又は官製はがきで応募された方の中から抽選でペア2組(4名の方)にカナダ往復航空券がプレゼントされます。



◀ステーキあさくまのオープンセレモニーではアルバータ州アイズリー農業大臣が挨拶。



平成4年度定時総会

7月14日、仙台市において東北日本カナダ協会平成4年度定時総会が開催されました。都合により欠席した玉川会長に代わり、当協会副会長の東北電力明間社長が議長となり、議事が進行されました。

挨拶の中で明間副会長は、「カナダはパシフィック2000という政策により、アジア特に日本の、しかも地方経済に注目し交流拡大を図っており、この東北地域にも名誉通商代表が設置され(当協会玉川会長が就任)、交流促進に尽力しているところですが、今後ますますの交流拡大に向けて会員の皆さまの協力をお願いしたい」と述べました。

4年度も、講演会やセミナーの開催ならびに相互交流に関するイベントの開催・後援など積極的に活動していくこととしています。

総会終了後、交流パーティが開催され、会員の方々の懇親を深めました。



車椅子 バスケットボール大会

7月31日に山形市、8月1日には盛岡市において、カナダ・ビクトリア車椅子バスケットボールクラブとの親善交流試合が行われました。これは昨年の盛岡チームのビクトリア訪問の返礼として企画されたもので、ビクトリア市と姉妹都市となっている盛岡市に、四日間滞在しました。その間、盛岡さんさ踊りに揃いの浴衣で参加したり、お茶会やわんこそばにも挑戦するなど、多くの市民との交流を深めました。



▲盛岡さんさ踊りでは“地元”との交流も。

山形市でも見事なプレーを披露。



グローバル・ビジョン'92

カナダは将来の通商分野の人材育成のための実地職業訓練・講習を昨年よりグローバル・ビジョンという名称で制度化しました。この制度により、選抜されたカナダ高校生が昨年のヨーロッパ派遣に続き、今夏は、日本・韓国・シンガポールに派遣されました。このうちの1グループ(6名)が東京をはじめ大阪・広島を訪問、7月17日・18日には仙台市を訪れました。

仙台では、東北電力株の仙台火力発電所の見学、市内見学のほか地元高校生とも懇談し、交流の輪を広げました。

▼女川の皆さんからも—Welcome!!



カナダフェア・in・女川

10月3日・4日に宮城県女川町において「カナダフェア」が開催されました。このフェアは、牛肉、ワイン、カウチンセーターやロッキー氷河の天然水などカナダから空輸された物産の即売や家庭料理の実演・子供絵画展などが催されました。

とくに、3日はカナダ国際大学理事・山岡靖子氏による「カナダの人情・ネルソンの人情」と題する講演会が開催され、終了後、交流パーティや野外コンサートも行われました。また、4日の日曜日には、県内在住のカナダ人約40名が会場を訪れ、第二次大戦の女川空襲で戦死したカナダ人パイロット・グレイ大尉の記念碑に献花したあと、女川町民による歓迎レセプションやアトラクションに参加し、楽しい休日をごしました。

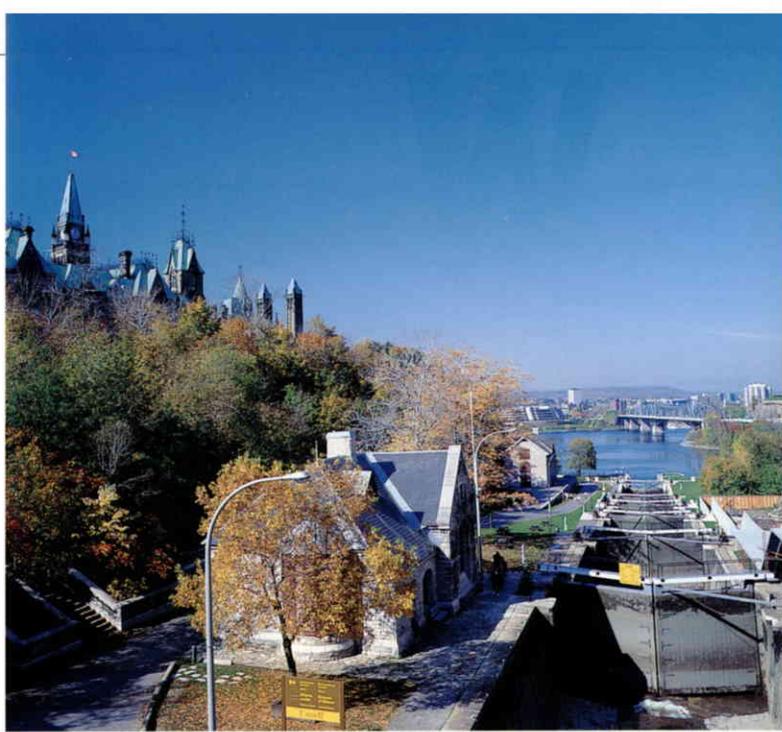


▶創作太鼓にチャレンジ。

ケベック・シティから ナイアガラへ

●メイプル街道●

セント・ローレンス川沿いに続く街道を中心としたカナダ東部一帯は、「ヘリテージ・ハイウェイ(“われわれの歴史遺産の道”）」の名でカナダの人々に親しまれています。また、この街道は燃えあがるようなメイプルの紅葉が続くことでも知られており、日本では「メイプル街道」と呼ばれています。



CANADA



メイプル街道

カナダ
一口メモ

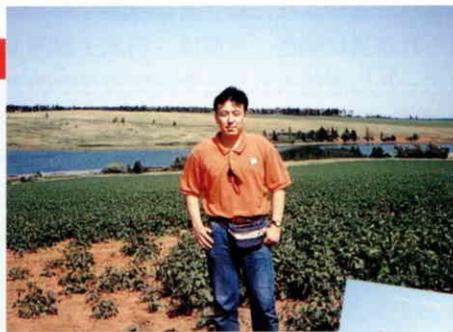
- 総面積 約998万平方km(日本の約27倍)
- 人口 約2,625万人(東京都の約2倍)で人口の80パーセントはアメリカとの国境から400キロの範囲内に集中している。

寄稿

カナダ誕生の地
東北電力株式会社地域開発協力部
(ニューヨーク事務所研修生)管野 秀幸

1864年9月、オンタリオ、ケベック、ノバスコシア、ニューブランズウィック、プリンスエドワード島の5州の代表が、プリンスエドワード島のシャーロットタウンに集まり、カナダ統一のための会議が開催されました。その3年後の1867年7月1日にカナダが誕生し、今年が125年目です。

日本では、「赤毛のアン」の舞台として有名なプリンスエドワード島ですが、カナダの人々にとって、カナダ建国の歴史と密接に関係しているのです。会議が開催されたプロビンスハウスは、「カナダ誕生の地」として一般に公開されています。休日を利用した旅行で、またカナダを少し知ることができました。



◀プリンスエドワード島の名物はクラム(あさりの少々大きなもの)・マッスル(ムール貝)・ロブスター・ジャガイモ(私の後に広がっているのはジャガイモ畑です)。

▼プロビンス・ハウス



◀これは、モンゴメリーのいとこの家で、「赤毛のアン」のグリーンゲイブルズのモデルとなったところです。

